

平成31年度 須坂市立豊丘小学校グランドデザイン

学校教育目標

心豊かで 考え深く たくましく

心豊かで…関わる楽しさ

様々な出会いや発見をしながら「もの・こと・人」と関わる楽しさを味わう子ども

考え深く…考える楽しさ

「もの・こと・人」と関わりながら考えを広げたり、深めたりして、考える楽しさを味わう子ども

たくましく…活動する楽しさ

願いをもったり、振り返ったりしながら活動する楽しさ、のびる喜びを味わう子ども

【全校研究テーマ】

「自ら動き出したくなる授業の創造」
～感じ、思い、考え、判断して、課題解決に向けて活動する子ども～

<教科指導の重点>

- [国語] 言語活動を通して、「話す・聞く」「書く」「読む」という言語力を養い、伝え合う力を高め、思考力を養う。
- [社会] 社会事象の意味や価値について、調査や体験活動・友達との話し合い活動を設定し、見方、考え方を深める。
- [算数] 既習内容を基に児童が自ら考え出す場を設定し、筋道を立てて考え、表現する力を育む。
- [理科] 自然に親しむことや、観察・実験を通して、科学的な見方・考え方を育む。
- [生活] 具体的な活動を通し、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心を持たせ、自立への基礎を育む。
- [音楽] 表現に重点をおいた活動を通して、自他の違いを認め合いながら表現力を高める。
- [図工] 感性を働かせながら、つくり出す喜びを味わえるよう指導する。
- [体育] 運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。
- [家庭科] 共同調理で学んだことを生かすとともに一人調理での技能を身に付け、実生活で活用する力を養う。
- 【特別の教科道徳】自分自身の姿を見返す力や、よりよく生きようとする子どもを育てる。
- 【総合的な学習の時間】課題解決に向けて主体的に考え、判断して活動する資質・能力を育てる。
- 【外国語・外国語活動】外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションしようとする資質・能力を育てる。

運営の基本方針

- 1 一人一人の教職員が、それぞれの特性・創造性を発揮するとともに、広く研修を深め、より高い教育職員としての資質向上に、積極的に努める。
- 2 学校の特色(全校縦割り活動等)を生かした教育を推進する。具体的な実践の場を設定する。
- 3 「児童・教師一体となった学習環境整備」に取り組み、子ども一人一人が心身ともに安全で安心して過ごせ、自分の育ちを実感できる学校づくりに努める。
- 4 地域の実情や願いを把握するとともに、教師と保護者、学校と地域が連携と信頼関係をいっそう深めて、より大きな教育効果を上げられるように努める。
- 5 少人数の利点を生かし、個々が生きる行事や児童会の活動の工夫を図る。

【特別活動の重点】

- ① 学級や学校生活の諸問題解決に向けて考え、友だちと話し合う活動の充実を図り、思考力、表現力、実践力を育む。
- ② 学級内の係活動の充実を図り、協力の大切さや達成感を実感する。
- ③ 日常生活や学習への適応及び健康や安全な生活に心がける態度を養う。

【児童理解の重点】

- ① 児童一人一人が「居場所」「生き甲斐」「存在感」を感じられる学級づくりに努める。
- ② 児童一人一人の実態を掴み、個性・能力・適性の発見、伸長に努め、自己実現を図る。
- ③ 問題点の対策のみに終始せず、それを生み出す要因を探り指導援助する。

【特別支援教育の重点】

- ① 一人一人に応じた支援
- ② チーム支援(TT、校内支援体制、家庭との連携、専門機関との連携)
- ③ 生きて働く力の育成

【食育の重点】

- ① 食の機能や大切さが分かる。(食育教育行事の充実)
- ② 食を通して、自然や社会との関わりを知り、感謝する心を育てる。(弁当づくり、親子調理教室などを通じた家庭との連携)
- ③ 楽しく食べることの良さが分かる。(会食行事の充実)

【人権教育の重点】

- ① 一人一人の子どもの状況や問題を大切に受け止め、支え合う明るい学級づくりを進める。
- ② 子どもの心情に沿った指導をし、人権感覚を高める。
- ③ 様々な立場の人との交流活動を通して、思い合う心を育てていく。

<実践化>

【異学年の児童がつながり、活力ある学校に】

- (1) 教科、総合、行事を通して体験活動や交流活動を充実させる。
- (2) 縦割り清掃や縦割り班活動を通して、他者との関わりを幅を広げる。
- (3) 個々に考える場とペア学習・グループ学習など、考え合う場の充実を図る。活動への願いやめあてを持ち、活動を振り返り育ちを認め合う場を充実させる。
- (4) 児童会や町別児童会では、活動の重点を焦点化し、指示を少なくしても活動できる指導の工夫と充実を図る。
- (5) 連学年体育、連学年音楽、連学年行事を工夫する。
- (6) 全校で飯ごう炊さんを行い、食への感謝と学年を越えた協力関係の構築を図る。
- (7) 地域の「ふれあいまつり」への積極参加、豊丘保育園や地域の養老ホーム等と連携を図る。
- (8) 音楽会でのチャレンジステージや読み聞かせ行事などの充実により、子どもたちや保護者が自ら活動を工夫し主体的な活動ができる場を創る。
- (9) 講座体験学習「園里っ子」を通して体験活動を充実させ地域連携を図る。
- (10) 中央花壇を学校の和のシンボルとして位置づけ、互いを大切にする心を養う。

【学力向上プラン】

- (1) 学習の確実な一般化や定着を図る(課題やドリルが適時にできるようにする)。
- (2) 授業力の向上を図る。授業のユニバーサルデザイン化、子どもが見通しのもてる板書づくりの研究に取り組む。
- (3) 学年に応じた家庭での「自主学習」を推進する。
- (4) 定期的に「スイッチ OFF 週間」を設けて成果についてのアンケートを行い、家庭と連携し学習習慣の形成を図る。
- (5) 月齢の中に「子どもと向き合う時間」を設け、補充的な学習を行う。
- (6) ICT 機器、デジタル教科書の活用。
- (7) 「家庭学習の手引き」を利用して、全国学力・学習状況調査にある「家で予習・復習をしているか」の項目回答について県平均を上回るように取り組む。
- (8) 連学年会においてミニ研修を位置付け、教材研究や模擬授業を日常化する。